

清流

題字：芳野 充

平成30年9月30日

第21号

発行所 加来不動産(株)

発行者 加来 寛

北九州市小倉南区守恒本町1-12-23

穏やかに
静かに
清流のように

機敏さは、人間関係を良好にするコツ

わが家ではそうじをする際、小学校六年生の長男と、小学校四年生の長女も戦力として活躍してもらいます。とくに長女はかなりの戦力になってくれます。力はそんなにありませんが、「ぞうきんをとってきて」と声をかけると、「うん。わかった!」とサッと動いてくれますし、気づけばよごれたバケツの水をかえてきてくれたりします。親バカなのでしょうが、わが子ながらとても清々しいなど、思わされます。

そのような姿をみながら、つい先日のおわたしの行動は、機敏さに欠ける行動だったな、と反省しました。休日でしたので、朝からでかけておりました。帰宅したのは夕方前で、夕食までにはすこし時間がありましたので、リビングの床の拭きそうじをすることに。そこでも娘が手伝ってくれました。

すっかりキレイになったリビングの床をながめて、娘と達成感にひたっております。すると家事をしている妻から、ついでにテーブル上の照明のホコリもとってくれないか、と声がかかりました。達成感にひたったあとは、のんびりしようかなあ、というタイミングでしたので、あからさまにイヤそうな顔と、不機嫌そうな声で「いまやらんといけん? また今度でいいやん」とけん制しました。妻も食い下がります。

結局しぶしぶ行うことになりました。照明のホコリをとりながらムカムカしてきました。しかしフと気づくと、娘が脚立の下でサッと新聞紙をひいてくれました。ホコリがテーブルに落ちないように、気を回してくれていたのです。その瞬間、なんて情けないんだ、と反省させられました。どうせやるなら気持ちよく、機敏にうごいたほうがわたしも気持ちがいいですし、妻もそう思ってくれるはず。機敏な行動ができる人は、人に好かれ、それが良好な人間関係につながるのです。

素心学塾塾長の池田繁美先生は、「機敏」についてこのように述べております。「機敏さは、相手のことを思いやらなければ身につきません。こうすれば相手が喜ぶだろう、こうすれば相手が安心するだろう。そういう思いが、行動を素早くさせます」。

娘の機敏な行動を目の当たりにし、グズグズしていたわたしの行動を反省しました。また、機敏さは、人間関係を良好にするコツでもあるんだらうな、と実感いたしました。

加来 寛

